

各会場プログラム

開会式

9:20~9:25

基調講演

10:50~11:40

【演題】 患者さんに笑顔と信頼を提供する病院の質管理

【講師】 牧野 憲一 旭川赤十字病院 名誉院長・特別顧問

【座長】 小川 修 大津赤十字病院 院長

特別講演

13:00~13:50

【演題】 京都大学の医療DX戦略

【講師】 黒田 知宏 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授

【座長】 河南 智晴 大津赤十字病院 副院長

パネルディスカッション

14:10~15:40

【テーマ】 「笑顔と信頼の病院づくりの工夫」

【座長】 吉田 憲正 済生会支部京都府済生会 支部長

【パネリスト】 (1) 患者も職員も笑顔になるしくみづくり

市立福知山市民病院 看護部長 向山 和加乃

(2) 理念を力に変える：笑顔と信頼を育む看護部の取り組みと挑戦

京都済生会病院 看護部長 兼 院長補佐 緑 浩衣

(3) 医療マネジメント部発のアジャイル型改革とその成果

京都桂病院 医療マネジメント部 部長 野崎 歩

(4) コマンドセンターを活用した医療DXと業務改善

独立行政法人国立病院機構京都医療センター 院長補佐／看護部長 高田 幸千子

(5) “患者、医療者、地域医療” 三方よしの病院を目指して

ー当院DX推進室の取り組みー

大津赤十字病院 副院長・DX推進室長 河南 智晴

閉会式

15:50~16:00

一般演題

一般演題① 医療の質Ⅰ

座長：大野 辰治（琵琶湖中央リハビリテーション病院 院長）

9:30～10:40

①-1 感染症診療への貢献、病院内で細菌検査を実施する理由と役割

京都済生会病院 臨床検査科 喜多 いずみ

①-2 EGFR遺伝子変異検査データのモニタリング

大津赤十字病院 病理診断科部 西村 知己

①-3 嚥下評価における経口摂取レベル（FOIS）と重症度評価（兵頭スコア・MASA）に関する検討

医療法人幸生会琵琶湖中央リハビリテーション病院 リハビリ療法部言語聴覚課 竹村 淳

①-4 カットオフ値改善を目的とした整腸剤フォーミュラリの導入とその効果

京都第二赤十字病院 薬剤部 佐竹 智規

①-5 リハビリカンファレンスの開催形式と頻度を再考する

大津赤十字病院 リハビリテーション科部 中川 竜徳

①-6 当院における排尿ケアチーム活動の報告

市立長浜病院 看護局 西尾 多恵

①-7 当院ドック受診者における白血球数低値検体の調査

市立福知山市民病院 株式会社ビー・エム・エル 福知山市民病院BML検査室 高橋 大輔

①-8 多職種による心不全カンファレンスの運用方法改善に向けて ～新たに心不全テンプレートを導入して～

大津赤十字病院 看護部 永田 みどり

ランチョンセミナー①

12:00～12:50

共催：株式会社プレジジョン

【演 題】 「AI問診票とAI音声認識による業務改革

—診療現場に根ざしたDX推進と定着支援の戦略—」

【講 師】 山本 啓斗 株式会社プレジジョン 営業部 部長

一般演題⑥ 医療の質Ⅱ

座長：大久保 和俊（京都桂病院 院長）

14:00～14:50

⑥-1 整形外科手術を受ける高齢患者の手術侵襲によるリスクアセスメントを繋げる看護記録への取り組み

市立福知山市民病院 看護部 石井 淳平

⑥-2 身体的拘束最小化への取り組み ～患者の尊厳を守る～

大津赤十字病院 看護部 森川 恵美子

⑥-3 急性期病棟における専属療法士配置の初期効果と将来的展望

市立福知山市民病院 リハビリテーション科 田中 宏典

⑥-4 透析液生菌検査の院内測定化によるコスト削減と作業効率の向上

社会福祉法人恩賜財団 京都済生会病院 臨床工学科 松本 千尋

⑥-5 検査部におけるシステム障害時対応の見直し

長浜赤十字病院 検査部 中川 美波

⑥-6 入院時より在宅医療を視野に入れた継続看護

大津赤十字病院 看護部 中島 安里紗

一般演題

一般演題⑪ 医療の質Ⅲ

座長：大辻 英吾（京都第一赤十字病院 院長）

15:00～15:50

⑪-1 外科病棟と外来のカンファレンスを活用した連携

大津赤十字病院 看護部 本條 美緒

⑪-2 K病院ICUにおける 主観的睡眠評価法を用いた周術期患者に対する睡眠の質の分析

独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院 看護部 森下 千夏

⑪-3 脊椎疾患患者の排尿障害に対する看護師の術前評価に関する実態調査

洛和会丸太町病院 3病棟 上川 彩楓

⑪-4 患者の理解を深めるための取り組み ～ウォーキングカンファレンスを導入して～

大津赤十字病院 看護部 武藤 百花

⑪-5 実地練習を含め、多職種での復職支援を行ったギランバレー症候群患者の事例報告

琵琶湖中央リハビリテーション病院 リハビリ療法部 栗谷 明至

⑪-6 薬剤師による外来化学療法を受ける患者の医師診察前面談への参画と医師への提案状況について

大津赤十字病院 薬剤部 山下 慎司

一般演題

一般演題② 看護業務 I

座長：橋添 礼子（大津赤十字病院 看護部長）

9:30～10:40

- ②-1 サイクルシートの活用と多職種連携により実現した繋がりのある看護の実際
市立長浜病院 看護局 北川 圭子

- ②-2 帝王切開術において安全安楽な看護を目指して
～助産師と共に行ったシミュレーション勉強会で得られた事～
大津赤十字病院 看護部 渡辺 秀子

- ②-3 外来看護師の業務配分の最適化を目指して ～A病院外来でのハドルミーティング導入の効果～
彦根市立病院 外来 大山 浩子

- ②-4 外来化学療法を受ける患者の継続看護 –病棟と外来化学療法室との連携–
大津赤十字病院 看護部 南井 佑理子

- ②-5 新機能を搭載したナースコールの導入の効果
社会医療法人 誠光会 淡海医療センター 看護部 牧村 由香理

- ②-6 子どもの成長発達を踏まえた周手術期のプレパレーションの実施
大津赤十字病院 看護部 安岡 真奈

- ②-7 外来看護師の療養支援の標準化に向けた取り組み
市立福知山市民病院 外来診療棟 廣瀬 あかり

- ②-8 多職種連携による看護業務の効率化 ～眼科術前点眼の見直しを通して～
大津赤十字病院 看護部 梅木 奈美

ランチョンセミナー②

12:00～12:50

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

【演 題】 「医療DX時代の心臓植込み型デバイス遠隔モニタリング」

【講 師】 渡邊 研人 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 臨床工学部 副技士長

【座 長】 寺村 聡 社会医療法人 誠光会 淡海医療センター 臨床工学部 課長

一般演題⑦ 医療情報システム・DX／クリティカルパス

座長：木村 哲也（京都府立医科大学附属病院 医療情報部 副部長）

14:00～14:50

- ⑦-1 マイナ保険証利用率向上を目指した当院の取り組みについて
〔医療情報システム／DX〕 京都中部総合医療センター 医事課 中野 聖哉

- ⑦-2 京都北部における医療DXの導入状況
〔医療情報システム／DX〕 市立福知山市民病院 診療部 深田 良一

- ⑦-3 RPAを活用した医療情報システムDXの実践と効果
～検査結果登録業務の自動化から広がる業務改善～
〔医療情報システム／DX〕 公益財団法人近江兄弟社ヴォーリス記念病院 医療情報管理課システム室 林 徹夫

- ⑦-4 電子カルテシステム等一式に累積的なWindows®KB（更新プログラム）等を適用した取り組み
〔医療情報システム／DX〕 市立野洲病院 企画管理課／経営企画室／主席主幹 磯部 清太郎

- ⑦-5 電子カルテのDWH（データウェアハウス）を用いた医事入力支援のための抽出プログラム開発とその効果
〔医療情報システム／DX〕 京都桂病院 情報企画室 松尾 圭祐

- ⑦-6 患者・医療者間情報共有に向けた患者用クリニカルパス活用に向けて
〔クリティカルパス〕 淡海医療センター 看護局 大島 千里

一般演題

一般演題⑫ 医療マネジメントⅠ／診療情報管理

座長：清水 恒広（京都市立病院 院長）

15:00～15:50

⑫-1 当院における退院時リハビリテーション指導率改善に向けた取り組み

〔医療マネジメント〕

済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科 望月 洋希

⑫-2 物品請求業務の見直しについて

〔医療マネジメント〕

長浜赤十字病院 用度課 古橋 達也

⑫-3 多様な働き方とモチベーション価値観の関係について文献検索の結果明らかになったこと

〔医療マネジメント〕

医療法人医誠会 神崎中央病院 看護部 森木 美佐

⑫-4 当院救急室における臨床検査技師のタスク・シフト／シェア

〔医療マネジメント〕

京都市立病院 臨床検査技術科 井上 歩

⑫-5 急性期病棟における介護福祉士の活動

〔医療マネジメント〕

市立長浜病院 看護局 伊吹 真美

⑫-6 医師事務作業補助者と医事課・看護事務との連携強化による業務効率化への取り組み

〔診療情報管理〕公益財団法人近江兄弟社ヴォーリズ記念病院 医療情報管理課 診療情報管理室 諏訪 美雪

一般演題

一般演題③ 医療安全Ⅰ

座長：白神 幸太郎（京都医療センター 副院長）

9:30～10:40

③-1 定数配置薬における禁忌薬剤投与リスクの最小化を目指したアラートシステムの構築

彦根市立病院 医療安全推進室 水長 真由美

③-2 薬剤師が夜間の院内緊急コールに対応した1例

京都第二赤十字病院 薬剤部 谷口 稜太

③-3 全職員で取り組む医療安全研修の実施

大津赤十字志賀病院 看護部 板谷 理絵

③-4 活動推進班による5S活動実践の支援について

市立長浜病院 医療安全対策委員会 井上 実由起

③-5 MRI磁性体持ち込みによるインシデントを防ぐ

大津赤十字病院 放射線技術部 尾崎 里子

③-6 救急業務における異常所見報告の取り組み

済生会滋賀県病院 画像診断科 枚田 敏幸

③-7 病理検体の対面授受の取り組みとその効果

地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 臨床検査技術科 野田 みゆき

③-8 CARTの安全性確立へ ～誤認事故防止の取り組み～

京都中部総合医療センター 臨床工学科 川勝 徹

ランチョンセミナー③

12:00～12:50

共催：エム・シー・ヘルスケア株式会社

【演 題】 「タスクシフトと業務改善」

【講 師】 渡部 英樹 株式会社医療システム開発 代表取締役

【座 長】 大槻 俊知 株式会社最中屋 代表取締役 CIO

一般演題⑧ 医療安全Ⅱ／看護業務Ⅲ

座長：道満 俊成（大津赤十字病院 医療安全推進課 課長）

14:00～14:50

⑧-1 一般外来に勤務する看護師の心理的安全性に関する実態調査

〔医療安全〕 洛和会ヘルスケアシステム 洛和会丸太町病院 看護部 井上 梨花

⑧-2 カンファレンスの運営方法変更による身体拘束解除に向けたスタッフの意識の変化

〔医療安全〕 医療法人 洛和会 洛和会音羽病院 看護部2A病棟 小林 彩

⑧-3 ICUにおける身体拘束率の低減に向けた取り組み

〔医療安全〕 大津赤十字病院 看護部 佐藤 梓

⑧-4 急性期病院における転倒・転落に関する分析と予防 ～データの可視化の重要性～

〔医療安全〕 洛和会丸太町病院 医療安全管理室 福田 文子

⑧-5 身体拘束最小化に向けた倫理的思考醸成への取り組み

〔看護業務〕 市立福知山市民病院 認知症ケアチーム 東村 朋子

⑧-6 内服抗がん薬の服薬指導への取り組み ～曝露対策に着目した服薬方法～

〔看護業務〕 大津赤十字病院 看護部 森川 真江

一般演題

一般演題⑬ 看護業務Ⅳ／教育Ⅱ

座長：楠元 五輪子（大津赤十字病院 看護部 副部長）

15:00～15:50

- ⑬-1 救急外来受診を繰り返す高齢患者に対して療養支援を目的とした看護計画の立案による
看護実践の変化

〔看護業務〕

市立福知山市民病院 救急外来 櫻井 瑛大

- ⑬-2 ストーマ造設患者への看護と課題

〔看護業務〕

大津赤十字病院 看護部 木村 浩美

- ⑬-3 早期警戒スコア（NEWS）活用した急変予測の取り組み

〔看護業務〕

市立福知山市民病院 看護部 救命救急病棟 豊嶋 智子

- ⑬-4 承認し合えるチームづくりを目指して ～マインドカードを使用した振り返りの実践～

〔看護業務〕

大津赤十字病院 看護部 喜多 純子

- ⑬-5 生涯学習支援における院内留学の効果

〔教育〕

滋賀県済生会病院 救急病棟 今村 里紗

- ⑬-6 教育委員の役割やあり方の再考 ―経験学習サイクルを基盤とした教育活動を通して―

〔教育〕

市立長浜病院 看護局 藤居 紋

一般演題

一般演題④ 患者サービス／健診業務

座長：増山 守（済生会滋賀県病院 副院長）

9:30～10:40

- ④-1 レクリエーションの変更による行動・心理面への効果 ～D-EMSを用いた評価～
〔患者サービス〕 長浜市立湖北病院 看護部 西川 明徳
- ④-2 認知症ケアラウンドの取り組み ―認知症ケア専門士資格をもつ看護師として―
〔患者サービス〕 大津赤十字志賀病院 看護部 中村 ゆかり
- ④-3 人工呼吸器、腹膜透析が必要な患者への入浴援助について
〔患者サービス〕 市立長浜病院 看護局 安藤 由美子
- ④-4 患者満足度向上と価格高騰に対する栄養課の取り組み
〔患者サービス〕 大津赤十字病院 栄養課 山本 邦博
- ④-5 管理栄養士の病棟担当制導入から10年を迎えた当院の栄養・食事療養サービスの評価
〔患者サービス〕 地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 診療技術部栄養科 植木 明
- ④-6 自己調節鎮痛法（PCA）を用いた術後疼痛管理
〔患者サービス〕 大津赤十字病院 看護部 笹本 公美
- ④-7 外来採血待ち時間短縮に向けた取り組み
〔患者サービス〕 社会福祉法人 恩賜財団済生会滋賀県病院 臨床検査科 新井 未来
- ④-8 人間ドック受診者アンケート満足度調査 ―受診者の満足度向上のために―
〔健診業務〕 大津赤十字病院 看護部 森井 里子

ランチョンセミナー④

12:00～12:50

共催：ニッセイ情報テクノロジー株式会社

- 【演 題】 「MEDI-SINUSを活用した経営改善に向けた患者支援センターの取り組み―病床管理カンファレンスを通して―」
- 【講 師】 伊富貴 初美 大津赤十字病院 看護部副部長 患者支援センター副センター長
- 【座 長】 馬場 健次 ニッセイ情報テクノロジー株式会社 ヘルスケアコンサルティング営業部 全国統括営業責任者

一般演題⑨ 教育 I

座長：平野 千穂美（大津赤十字病院 看護部 副部長）

14:00～14:50

- ⑨-1 中堅看護師の行動変容と成長を支える組織的な関わり
―研修と振り返り支援による実践的支援の実例―
市立福知山市民病院 看護部 青木 道世
- ⑨-2 赤十字実践者ラダー I 取得後の看護師のキャリア支援
大津赤十字病院 看護部 松井 泰憲
- ⑨-3 当院における学生指導に関する変革に向けた取り組み
～指導の省察と教育連携について～
市立長浜病院 看護局 山口 未来人
- ⑨-4 当院リハビリテーション科におけるアクシデント事案の振り返りと一次救命処置研修
京都済生会病院 リハビリテーション科 新井 裕生
- ⑨-5 言語聴覚士養成校と臨床現場が連携した卒後教育プログラムの試行とその意義
市立福知山市民病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 森田 すみれ
- ⑨-6 病院管理栄養士の臨床業務に関する卒後教育方法の一例
京都済生会病院 栄養科 塩濱 奈保子

一般演題

一般演題⑭ 教育Ⅲ

座長：伊吹 はまよ（大津赤十字志賀病院 看護部長）

15:00～15:50

⑭-1 新人看護師の看護技術習得を支援する看護部ラボ室の設置と活用の効果

大津赤十字病院 看護部 赤澤 忍

⑭-2 看護学実習カンファレンスに看護リフレクションを導入した効果
～学生と指導者が看護を共に学びあう～

市立福知山市民病院 附属看護学校 高松 満里

⑭-3 化学療法を安全に実施する看護師の育成への取り組み

地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 6C病棟 向井 裕子

⑭-4 2年課程の看護学生が看護研究過程の能動的学習によって獲得する力

市立福知山市民病院 附属看護学校 小西 佐知子

⑭-5 教育担当科長補佐が実践するリフレクションとその気づき

彦根市立病院 外来 永山 夕水

⑭-6 新生児看護における夜勤体制構築とスタッフ育成の取り組み
～孤独感の軽減と「できた」の実感を目指して～

地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 看護部 岡本 友美子

一般演題

一般演題⑤ 地域連携／看護業務Ⅱ

座長：高折 恭一（市立長浜病院 院長）

9:30～10:40

⑤-1 地域包括ケア病棟における3段階プロセスを用いた退院支援の効果

〔地域連携〕

洛和会ヘルスケアシステム 音羽病院 看護部 和住 阿弥

⑤-2 患者を支える退院支援の体制づくり ～退院後同行訪問事例～

〔地域連携〕

市立長浜病院 看護局 鍋島 みゆき

⑤-3 地域向け講座の機会を利用して地域サロン（住民）を横断的に繋いだ実践と効果について

〔地域連携〕

医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 健康福祉事業課 上嶋 美由紀

⑤-4 地域における看護職連携の取り組みについて

〔地域連携〕

京都済生会病院 入退院センター 空閑 みゆき

⑤-5 異業種からの転職による地域医療連携室

〔地域連携〕

医療法人清仁会 洛西シミズ病院 地域医療連携室 岡本 美玲

⑤-6 術後疼痛管理の質向上を目指して

〔看護業務〕

大津赤十字病院 看護部 後野 正美

⑤-7 早期離床リハビリテーション導入による変化 ―救急病棟からの退院支援―

〔看護業務〕

大津赤十字病院 看護部 石田 朋子

⑤-8 急性期から慢性期へ継続看護の充実を目指して ―退院支援におけるスキルの向上をはかる―

〔看護業務〕

大津赤十字志賀病院 看護部 前田 朋美

一般演題⑩ 病院運営Ⅰ

座長：辻川 知之（公立甲賀病院 院長）

14:00～14:50

⑩-1 「心理的安全性」を活用したマネジメントの取り組み

京都第一赤十字病院 事務部人事課 福井 義行

⑩-2 コロナ禍に導入した全職種型メンター制度による組織開発とメンタル・サポートお試み

京都協立病院 総合診療科 玉木 千里

⑩-3 病院機能が医師の時間外労働の上限規制に与える影響 ～京都府DPC対象病院での解析～

市立福知山市民病院 消化器内科 阪上 順一

⑩-4 当月進捗管理による収入確保への取り組み ～診療実績の早期共有と行動改善の促進～

社会医療法人誠光会 法人本部 経営管理課 佐々木 智恵

⑩-5 地域包括ケア病棟から地域包括医療病棟転換への取り組み ～対象患者の受け入れに向けて～

京都済生会病院 看護部 地域包括医療病棟 村田 真理子

⑩-6 病院前の交通渋滞緩和に向けた取り組み ―「2台お先にどうぞ」運動の実践―

地方独立行政法人公立甲賀病院 経営戦略室 森口 三義

一般演題

一般演題⑮ 病院運営Ⅱ／医療マネジメントⅡ

座長：魚嶋 伸彦（京都第二赤十字病院 院長）

15:00～15:50

⑮-1 適正な診療報酬確保に向けた取り組み

～看護師の働きを“見える化”して加算につなげる取り組み～

〔病院運営〕

洛和会丸太町病院 管理課 半田 望

⑮-2 年末調整業務の効率化を目指して ーシステム活用による事務負担軽減の実践報告

〔病院運営〕

京都中部総合医療センター 総務課 久保 まみ

⑮-3 退院支援専任看護師と医療ソーシャルワーカーの2職種配置体制における退院支援部門の運営

〔医療マネジメント〕

大津赤十字病院 看護部 森田 美砂

⑮-4 当院における一包化錠剤仕分装置導入による業務効率化と費用対効果の検証

〔医療マネジメント〕

彦根市立病院 薬剤部 古俵 孝明

⑮-5 薬局窓口業務の軽減

〔医療マネジメント〕

大津赤十字病院 薬剤部 河原 夕奈

⑮-6 薬剤総合評価調整加算の算定増加への薬剤師の取り組み

〔医療マネジメント〕

京都済生会病院 薬剤部 山内 紀子